

2020 年度相談支援部会活動報告

〈活動概要〉

宇治市委託相談支援センター「そら」と宇治市内に事業所を構える16の指定特定相談支援事業所(今年度から2事業所が新規加入)の相談員が月に一度集まり、行政(宇治市)との情報共有、相談員の研鑽を目的に会議を開催しています。近年は、保健所や警察を招き、周辺分野についての勉強会を実施しており、今年度も外部講師を招いての勉強会を予定していましたが、コロナ禍の影響で、見送ることになりました。4月、5月の部会は感染予防の観点から中止し、6月から再開、1月は感染拡大のため ZOOM によるリモート会議を初めて行いました。

前半は事例検討を重ねながらコロナ禍での各事業所の近況報告、各種サービス動向の確認、後半は勉強会(アセスメント表、計画相談の手引き等)、コロナ感染者が出た場合のマニュアル、実際、その対応をされた状況報告、今後の対応策の話し合いも行っています。

多くの相談員が他業務との兼務または少人数である特殊な事情を鑑み、困難事例や業務上の悩みを気軽に話し合いながら、相談員が孤立しないように集える場所であることを大切に活動しています。

日時	内容
4月16日	(中止)(メール一斉配信にて)年間計画(案)・事業所一覧の配布
5月21日	(中止)
6月18日	年間計画の確定、各事業所の現状報告
7月16日	事例検討
8月20日	事例検討
9月17日	事例検討
10月15日	事例検討
11月19日	勉強会①(みんなが使用しているアセスメント表の確認)
12月17日	勉強会②(計画相談の手引きのための話し合い)
1月21日	(リモート会議)新型コロナウイルス感染症の各事業所の対応について
2月18日	(リモート会議)今年度振り返りと次年度に向けて①
3月18日	今年度振り返りと次年度に向けて②

〈現状と課題〉

- 1、家庭基盤が脆弱な世帯や単身の地域生活を支える為の支援
- 2、医療的ケア児・者や強度行動障害、重度知的障害により専門性の高い対応や環境を要する人への資源不足

- 3、生活の危機感、支援の必要性について当事者と支援者に溝がある方への介入や関わり方
- 4、コロナ禍におけるサービス調整や緊急時の対応、職員の確保
- 5、相談支援業務の手引き作成

近年、複雑化する本人を取り巻く家庭背景や環境とあわせ、上記浮き彫りになる諸課題に丁寧に対応できる相談支援専門員が必須。しかし、宇治市内16事業所に所属する35名の相談支援専門員が約800件の計画相談を受け持つ危機的な状況が続いており、改善の見通しも持てない状況にある。